

第4回 平成8年度 受賞者

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

郡上おどり保存会（岐阜県郡上郡八幡町）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

財団法人淡路人形協会（兵庫県南あわじ市）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

永松 茂・雪美（佐賀県小城町）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

隼人町鈴かけ馬おどり保存会（鹿児島県隼人町）

受賞者 プロフィール

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

郡上おどり保存会（岐阜県郡上郡八幡町）



岐阜県郡上郡八幡町で毎年行われてる郡上踊りは、「見る踊りではなく、一緒になって踊り楽しむもの」です。

踊りの種類も十曲と多く、踊りの順番は、その時の踊り場の調子を見て、硬軟・緩急の踊り種目を組み合わせてゆき、夜を徹して踊りあかします。音頭取りも、囃子方も、踊り手も疲れることのないように仕組みられており、最高の演出が工夫されています。

8月のお盆を中心に三十日間余りに三十万人の観光客が集まり、地域の文化の高揚と観光・商工業の振興に大きく貢献していきます。

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

財団法人淡路人形協会（兵庫県南あわじ市）



江戸時代に始まった淡路人形浄瑠璃は、往時四十二座が技を競い、全国に人形浄瑠璃ファンを拡大して参りました。

現在は淡路人形座一座となっていますが、兵庫県南淡町の常設館では観光客を対象に年中無休で公演し、国内にも出張公演を行い、淡路の名を広めています。

また、「全国人形サミット」を主唱し、各地で保存、伝承に苦慮している伝統人形芝居の保存・継承にも積極的に協力しており、テレビ、新聞雑誌の取材も多く、地域伝統芸能の保存継承と観光、商工業の振興に大きな役割を果たしております。

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

永松 茂・雪美（佐賀県小城町）



永松さんの製作する山笠人形は、佐賀県小城町「山挽祇園祭」挽山の上に飾られ、祭りを盛り上げます。

山挽祇園祭は、古くから「見事みるには博多の祇園、人間見るには小城の祇園」とまで言われ、観光客の多いことで知られています。

挽山に飾る人形は、歴史上の武将達で、藁人形に段ボールや厚紙等を用い、衣裳には金銀の色紙を貼り合わせて武者人形とします。

永松さんは、山笠人形を四十五年もの多年にわたり製作しており、その製作を通じ地域の振興に著しく貢献しています。祭りは例年七月下旬に行われています。

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

隼人町鈴かけ馬おどり保存会（鹿児島県隼人町）



鹿児島県隼人町の鈴かけ馬おどりは、人馬一体となって踊る珍しい祭りで、春三月の日曜日に行われています。

祭りの起源は、室町時代、殿様の夢枕に馬頭観音が立ち、守護神となったことによると伝えられています。

近在から繰り出す美しく飾り立てた二十数頭の馬が、マンボに似たステップを踏んでユーモラスに踊ります。

馬の後ろからは、百人近い踊り手がお囃子と歌に合わせて踊り、その様は壮観です。

人口三万四千人の町に三十万人の観光客が集まり、観光・商工業の振興に大きく貢献しています。

